

京都市男女共同参画センター実施事業（指定管理事業）

分類	事業名	事業内容	令和3年度実績
情報の収集及び提供	図書資料の収集と提供	男女共同参画推進拠点としての情報発信 ・男女共同参画に関する情報・資料の収集 ・図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施 ・ブックフェア及び市立図書館等との連携 ・男女共同参画に関するパネル展と上映会の実施	1. 男女共同参画ブックフェアの開催 ①男女共同参画週間「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」(6/17～7/17) ②国際ガールズデー「10月11日は国際ガールズデー」(10/7～10/31) ③パープルリボン月間「女性への暴力にNO!と言おう【#MeTooを一時的ブームで終わらせない】」(11/1～11/30) ④国際女性デー「国際女性デー2022」(2/22～3/25) 2. 男女共同参画パネル展の開催 ①男女共同参画週間 パネル展「スウェーデンのパパたち」写真展(6/17～7/1) 共催 スウェーデン大使館 ②国際女性デーパネル展「山川菊栄の足跡をたどる」(3/4～3/14) 共催 山川菊栄記念会 3. ミニブックフェアの開催 「平塚らいてう没後50年」「ジェンダー視点で読む“シンデレラ”」など 12回 4. 京都市立図書館へのブックリストとパネルデータの提供 ①男女共同参画週間(10館) ②国際ガールズデー(3館) ③パープルリボン月間(2館) ④国際女性デー2022(10館) 5. 映画上映会 ①上映作品「ダブルシフト～パパの子育て奮闘記～」(6/25・6/26 4回上映 のべ37人) ②上映作品「山川菊栄の思想と活動～姉妹よ、まずかく疑うことを習え」(3/4・3/5 4回上映 のべ51人)
	インターネットでの情報発信	ICT（情報通信技術）及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る。	・ホームページの更新（随時） ・メールマガジン「Wings Press」（月1回・号外） ・Facebook（随時） ・Twitter（随時）
啓発誌の発行	啓発誌・講座案内の発行	紙媒体を利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る。	・啓発誌「男女共同参画通信」の発行 年2回 各23,000部 ・講座案内「ウィングスきょうと」の発行 年6回 各7,500部程度
講座、研修等の実施	DV予防講座	DVや性暴力根絶のために、若年層に向けた予防教育をはじめ、関係機関の職員等に向け、DV予防について啓発を行う。	①お互いの心と体を大切にしよう ～デートDVについての学び～ 【対象】京都市内中学校 中学校2年生・教員 70人(1/27) ②子どもの権利を意識して子どもの育ちを支える～子どもにとってのサードプレイス 児童館・学童保育～ 【対象】京都市内の児童館・学童保育職員 87人(2/21) ③お互いの心と体を大切にしよう ～デートDVについての学び～ 【対象】京都市内中学校 中学校2年生・教員 219人(2/28) <講師>①③伊田広行（非暴力ルーム・大阪NOVO（ノボ）） ②重松和枝（NPO法人CAPセンター・JAPAN 事務局次長）
	DV啓発事業	DVや性暴力根絶のために、市民に向け広く啓発を行う。	女性に対する暴力をなくす運動（11/12～25）に合わせ、パープル月間として「パートナーとの関係は対等ですか？」と書かれた広告を以下の媒体でDV防止を啓発した。 ①京都リビング10月29日号 京都市全域（中央・東南・西南エリア）483,850部 ②京都市地下鉄の車内吊りポスター掲載期間 11/1～11/30 1ヶ月間 270部
	男性の家事・育児参画講座	男性が育休や男性版産休制度を戸惑うことなく利用し、ワーク・ライフ・バランスを推進するための支援	プレパパ育児講座「楽しく暮らすパパスイッチを入れよう」20人 ①男性の育休制度ってどんなこと？育休取得の秘訣(5/22) 【内容】育休休業制度・育児休業給付金制度・子ども育児休暇の時間休・男性版産休の新設の説明と育児休業者の体験談 ②赤ちゃんと暮らすことで、自分たちの生活はどう変わっていくのか(6/5) 【内容】赤ちゃんの発達段階・病気の対応等の講義とおむつ替え、抱き方等の実技 ③赤ちゃんと遊び方、パートナーとのコミュニケーション(6/19) 【内容】乳児との遊び方等と夫婦の価値観の違いを知り互いに理解するための講義とワークショップ <講師>①篠田厚志 NPO法人ファザリングジャパン関西理事・元大阪府職員 ②川内恵美子 兵庫医療大学看護学部講師。助産師・保健師・看護師・養護教諭 ③阿川勇太 兵庫医療大学看護学部助教・保健師・看護師・保育士・NPO法人ファザリングジャパン関西副理事長

	女性の就業継続支援講座	育児と仕事が両立できる就業継続支援を行う。	<p>全4回の講座を実施</p> <p>①<受講生とのオンライン双方向による講座>9人(7/16) 【内容】育休は絶好のリスタート期間。復職御は、新しい仕事スタイルを見つける。</p> <p>②<対面>10人(10/7 10/14 10/28) 【内容】ワークを通じて、未来の自分のキャリアを考える。それを受講生同士で共有し、新たな発見につなげる。最後の座談会では、様々なテーマで交流を深める。</p> <p><講師>畠中直美(一般社団法人チャレンジドLIFE代表・キャリアコンサルタント)</p>
	みんなで考える男女共同参画講座	<p>男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般、企業、学校教職員、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う。</p> <p>①定期開催 一般市民向け基礎講座(年4回) ②出前講座 企業・教職員・団体向け基礎講座</p> <p>(希望に応じてテーマ・会場を選定)</p> <p><講座テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画とは ・ 男女平等教育を考える ・ 子育て世代の男女共同参画 ・ DVを知る・考える ・ セクシュアル・ハラスメント ・ 働くあなたのワーク・ライフ・バランス ・ 防災と男女共同参画 ・ L G B T っ て な に ? 	<p>①定期開催(京都市男女共同参画センターで実施)</p> <p>ア 男女共同参画とは 4人(6/26) イ DVを知る、考える 21人(9/14) ウ L G B T っ て な に ? 13人(11/18) エ 防災と男女共同参画 15人(2/18)</p> <p>②出前講座</p> <p>ア 学校対象講座 12回 245人 イ P T A 対象講座 1回 18人 ウ その他 3回 97人</p>
講座、研修等の実施	性暴力被害者支援事業	<p>大学生を対象に「性暴力」について学ぶ機会を提供することで、彼らが被害者や加害者にならないための予防教育を実施する。</p>	<p>「性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないために」 【対象】京都市立大学・短期大学の学生と教職員 195人(12/9)</p> <p><講師>山本潤(一般社団法人Spring幹事/SANE(性暴力被害者支援看護師)/法務省法制審議会刑事法(性犯罪関係)部会委員)</p>
	性暴力被害者に対する偏見や先入観に気づききっかけを提供する	性暴力被害者に対する偏見や先入観に気づききっかけを提供する	<p>①「STAND Still ～性暴力サバイバービジュアルボイス写真展～」(11/12～11/18) 【内容】大藪順子氏による性暴力サバイバーの声を伝える写真 【場所】京都市男女共同参画センター ギャラリースペース</p> <p>②STAND Still オンライントークイベント「性暴力サバイバーたちの道のり」(11/13 35人) ※Zoom開催(後日録画配信有11/20～11/27)) 【内容】大藪順子氏によるトークイベント</p>
	女子大学生と考える女性活躍	大学と協働で事業を行うことで男女共同参画の加速化をめざす。	<p>「働く女性ロールモデルによる座談会」の動画視聴 大学との連携によるロールモデルトークを実施し、女性が働き続けることや自身のキャリアについてイメージできる場を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 華頂短期大学 2回生26人(6/28) ・ 同志社女子大学 2回生13人・3回生60人 計73人(12/9) ・ 京都市立大学 2回生47人・3回生27人・4回生2人 計76人(1/20) <p>※京都市立大学では、動画視聴後、女子学生向けに「就職活動に向けて働く女性の現状を知ろう」と題して講義を行った。</p>
	LGBT等居場所づくり(コミュニティスペース及び個別相談会)	LGBT等の当事者支援のための居場所づくり	<p>LGBT等コミュニティスペース京都まあぶるスペース 全4回</p> <p>①職場について考える(オンライン開催(Zoom)) 10人(6/21) 【対象】LGBT当事者又はそうかもしれない方・ご家族・支援者・関心のある方</p> <p>②学校について考える 7人(8/2) 【対象】23歳以下で、かつLGBT当事者又はそうかもしれない方</p> <p>③パートナーシップ宣言制度について考える 12人(10/24) 【対象】LGBT当事者又はそうかもしれない方・ご家族・支援者・関心のある方</p> <p>④社会参加について考える 10人(12/4) 【対象】性自認が女性の性的少数者(レズビアン、トランス女性等)(運営も女性のみ)</p> <p>※各回毎に個別相談を実施</p> <p><講師>①③阪部すみと Tsunagary Cafe(つながりカフェ) ②本多まさ ブライドプロジェクト代表 ④井上ひとみ 特定非営利法人カワルブ ランケツ理事長</p>

相談事業	一般相談・専門相談	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする。 ・ 女性のための相談 （電話・面接・女性への暴力相談・法律相談） ・ 男性のための相談 （面接・DV電話相談）	【女性のための相談】 ・電話 662件 ・面接 596件 ・暴力 62件 ・法律37件 【男性のための相談】 ・面接 66件 ・DV電話 20件
	DV被害当事者のための自立支援事業	DV被害者が、専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、人が本来持つべき自尊感情を取り戻すことにより、心身の回復を促す。	①DV被害者自立支援講座「わたしが私であるために」 （10/9～12/4 全5回 4人） 【対象】DV被害を受けた経験がある女性で加害者と別居中の方 ＜講師＞竹之下雅代（ウィメンズカウンセリング京都） ②DV被害者自立支援講座アフター会報告書「After～わたしが私であるために～」 発行部数 1,000部
	トラウマケアのための読書会	性暴力の被害によりトラウマを抱えている人を対象に、トラウマケアのための読書会を実施し、自尊感情を取り戻し心身を回復を促す。	「トラウマ読書会」の実施 計10回 のべ参加者数 93人 【内容】読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にセルフ・ケアを学ぶ 【対象】DV等女性に対する暴力の被害を経験した女性 （5/11（中止）、6/8、7/13、8/21、9/14、10/12、11/9、12/18、2/8、3/8 ※8月12日は語り合い） ＜講師＞竹之下雅代（ウィメンズカウンセリング京都）
	関係機関連携/苦情・要望等処理制度の受付	・相談に関わる機関の連携により、支援機関の相互交流と、支援員の資質向上を図る。 ・京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う。	以下の会議に参加 ・女性のための相談ネットワーク会議（年2回） ・配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 ・京都犯罪被害者支援連絡協議会・性犯罪被害者対策研究分科会 ・京都市域におけるDV被害者支援団体交流会 ・京都ストーリー総合対策ネットワーク連絡会議
活動のための施設の提供	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。 主な施設：イベントホール、スポーツルーム、セミナー室、会議室等	施設利用率（日数利用率） 73.0% 入館者数 222,035人	
活動団体相互間の連携及び交流	センター利用者や地域との協働事業	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、京都市男女共同参画センターとその役割への認知度向上を図る。	・高倉小学校の活動紹介 ・日影自治連合会の夜間巡回パトロールの参加 ・日影自治会お火焚き祭、初午祭の参加 ・常設展示やイベント
	パープルリボンの取組	「女性に対する暴力をなくす運動期間」（11/12～25）に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、イベントや展示をとおして市民が「女性に対する暴力の根絶」について考える機会を提供する。	①「パープルリボン月間2021 ～傷とむきあう～」（11/1～11/30） 場所：京都市男女共同参画センター ロビーほか ・『After～わたしが私であるために～』の配布 ・STAND Still ～性暴力サバイバービジュアルボイス写真展～ ・STAND Still オンライントークイベント「性暴力サバイバーたちの道のり」 ・DV防止に取り組む団体のパネル展/インフォメーションブース ・女性に対する暴力を考えるブックフェア/ブックリスト配布 ・京都市中央青少年活動センターコラボ企画「これって、性暴力なの…？」パネル展（3F中央青少年活動センター） ・パープルカフェ特別編 映画「声なき叫び」上映会+アフタートーク（11/27）25名 ②note「パープルカフェOnline」の更新

活動団体相互間の連携 及び交流	市民活動サポート事業	男女共同参画社会の実現に向けた取組や企画をもつNPOやグループに対し、助成を行い、地域における男女共同参画の推進を図る。	3団体へ助成
	防災リーダー育成事業	地域の防災訓練の場で活用できる防災教材を作成及び京都府下の地域を対象とした、「防災カード」を使ったワークショップの実施	<ul style="list-style-type: none"> 教材制作に向けた府内男女センターとのワークショップ（全3回 のべ31名参加）（6/18 オンラインミーティング、7/16京都テルサ） ※1/29実施予定の公開WSは、コロナウイルス感染症対策のため中止 <講師>池田恵子（静岡大学教育学部教授、静岡大学防災総合センター兼任教員、減災と男女共同参画研修推進センター共同代表） 教材『きょうとみんなの防災カード』の発行
調査研究・人材育成	データブック作成（隔年）	京都市の男女共同参画の現状を市民に情報提供することや、男女共同参画をテーマに調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる。	・「京都市男女共同参画データブック」発行（隔年作成のため、令和3年度は発行なし。）
保育	事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加又は相談室利用ができる環境を提供する。	<p>保育事業を保育グループマザーグースと協働で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業参加者の保育／施設利用者の保育 4箇月以上就学前までの子ども対象 親子のふれあい広場 親子で参加するふれあい広場をNPO団体と連携し実施

【参考】京都市男女共同参画センター実施事業（京都市男女共同参画推進協会への委託事業）

分類	事業名	事業内容	令和3年度実績
（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う） 不安を抱える女性に寄り添った支援事業（令和3年度～）	相談事業	京都市男女共同参画センターにおいて、有資格者による心理面での寄り添ったサポートを行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業、京都市DV相談支援センター等、必要な相談窓口につなぐ取組を実施	<p>「つながる相談室」 令和3年7月～</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：京都市内に在住、在学、在勤の女性 受付：月～土（水曜日・祝日・年末年始は休み） 電話・対面・オンライン相談が可能 相談受付総件数 150件（うち初回相談がオンライン予約21件）
	居場所づくり事業	京都市男女共同参画センターにおいて、専門家（ファシリテーター）の助言と立ち合いのもと、孤独、孤立で不安を抱える女性が、相互に支え合い、社会とのつながりを回復するための居場所づくりを実施	<p>会場には関連NPO法人等にも参加いただき、「つながるスペース」（居場所づくり）として、参加者との出会いの場を提供した。（計4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「聞いてみたい。どんな支援があるの？」（オンライン19名+後日配信20名）（1/25） 「今こそ、生理の“あたりまえ”を考えよう」（オンライン20名+後日配信59名）（2/5） ひとり親（女性）対象「聞いてみたい。どんな支援があるの？」（16名）（16名） ひとり親家庭の母子対象「出張mama*cafe～親子リトミック～（4組8名）（3/20）
	生理用品（相談窓口案内チラシ付き）の配備	京都市男女共同参画センター等で、様々な事情で生理用品を準備できない方を対象に、「つながる相談室」をはじめとした相談窓口を知っていただき、支援につなげていくことを目的に実施	<p>京都市男女共同参画センター、青少年活動センター（7箇所）、NPO団体等において、相談窓口案内チラシ付きの生理用品を無償で提供した（配備数は1万パック、協力団体数は約60団体）。</p> <p>※ 別途、市立の小学校、中学校、高等学校及び総合支援学校（全243校）及び一部大学において、在学する児童生徒とその保護者、在学する大学生を対象として、困りを抱える女子の児童生徒及び大学生に相談窓口チラシ付きの生理用品を提供した。</p>